

## 1 目的

阿久根市の農業従事者の担い手不足は厳しい状況が続いており、農業が産業としての基盤を脅かしかねない喫緊の課題である。本校は、令和元年度から阿久根市と包括連携協定を結び、地域で活躍できる人材育成に取り組んでいる。本事業との一体化により、多くの生徒が農業に対して興味・関心を深め、将来の農業に関する人材育成を図ることを目標としている。

生産から加工、販売まで行う6次産業化への取組や広い視野とグローバルな取組、体験的な学習を通して農業への理解を促すことで、農業関連産業への就職を増やしていきたい。さらに、上級学校への進学を目標とする生徒も育成し、上級学校卒業後は、高度な技術と知識を身に付けた先進的な農業を実践する担い手として地元就農につなげていきたい。

## 2 実施状況

### (1) 地域貢献活動（援農）・農家委託実習の実施

農家の収穫時期の人手不足は慢性的に起きている。令和2年度からJAいずみの御協力をいただき、長島地区の早春馬鈴薯の収穫支援を行っている。今年度は4月に実施し、生徒にとっては貴重な体験となった。本校は、7年前から阿久根市農政課、JA鹿兒島いずみ、北薩地域振興局と協働で、阿久根三笠地区の紅甘夏生産農家へ地域貢献活動として支援を行っている。今年度は天候不良のため中止となったが、冬期休業中はアルバイトという形で地域農家への支援活動を積極的に行った。

今後も地域農家の担い手不足を補う活動を行ってきたい。また、今年度も農家委託実習を5日間実施し、地元農家の管理作業や農家の声を直接聴くことができ勉強になった。



馬鈴薯収穫実習

### (2) 小学生体験学習の実施

阿久根市大川小学校全校生徒16人が本校で農業体験学習を行った。1年生から6年生までの幅広い学年の体験であったため、それぞれの学年に合わせた体験プログラムを準備した。1～2年生は牛のえさやりや花の寄せ植えの体験、3～4年生は食品加工でパンづくりの体験等を行った。5～6年生は測量・建設機械乗車体験を行った。小学生にとって高校生と一緒に活動し、日常で体験することができない経験となった。



小学生体験学習（パン作り）

### (3) 地域食材活用（出前講座）

食品技術科では、新メニュー開発を目的に地域食材の鶏や魚などを生かした調理法や盛り付け、食材の取り扱いなどを学んでいる。

これからの鶴翔レストランやテイクアウトのメニュー作り、文化祭等での販売会に生かしていきたい。

## 3 今後の課題、取組

どのように地域の方々に本校の取組を知ってもらうことが課題である。地域社会との繋がりを密にして出前講座や体験学習など、今後も地域と一体となって農業後継者の育成に取り組んでいきたい。



魚捌き講習